



光学式紙幣・証書鑑定機 (ビデオマイクروسコープ)

CD9000-MS(Ver2)

赤外線・紫外線・透過光・磁気センサーによる精密高精度鑑定

【大型ディスプレイ】

7インチの大型ディスプレイを採用、視認性が大幅アップ。

【集約コンソール】

光源、倍率の切り替え、本体カメラとマウスカメラの切替はフロントデッキ部分にスイッチを集約している操作性に優れています。

【USBによるPC接続で画像を保存】

キャプチャーソフトで画像を保存することができます。

【磁気センサー搭載】

紙幣鑑定における損傷券の対応は、磁気センサーによる検知が便利です。

【A4判対応】

検体のmax値はA4判(210×297mm)に対応しています。

【マウスカメラのズーム機能】

20～80倍の2極ズームが可能です。



日本シーディーアール株式会社

<http://www.cdrjapan.co.jp/cdr>

CD9000-MS(Ver2)は、1台で紙幣（日銀券及び外貨）、証書、商品券等様々な検体の鑑定が可能です。磁気センサー及びステージ下のバックライトで透過光鑑定が可能です。磁性インクや黒すかしが施された紙幣の鑑定に適しています。紙幣の場合は損傷券の視認鑑定にも適しています

**本体カメラ2系統＋マウスカメラ＝合計3系統のカメラを搭載
紫外光＋赤外光＋自然光(標準光／斜光)による映像鑑定**

1. ホログラム(日本銀行HPより引用)



(桜の模様)



(額面金額)



(千円＝日本銀行の「日」の文字を図案化したマーク)

2. 紫外線による反応をチェック



紫外線による蛍光発色
(黄色く変色発光する)

3. マイクロ文字などのチェック



マイクロ文字(一万円) (左: 本体カメラ拡大、右: マウスカメラ)

4. 透過光と斜光線鑑定のようす



すき入れ部分の鑑定(左＝透過光、右＝斜光線)

5. 硬貨等 金属 鍛造／鋳造品などのチェック



硬貨: 拡大画像で500円硬貨の真贋判定(贋=日銀HPより)

- 6. エンボスアンチコピーのチェック
- 7. マイクロパーフォレーション(微小穿孔)のチェック
- 8. すかし印刷をチェック
- 9. セキュリティスレッドをチェック
- 10. レインボー印刷などのチェック
- 11. 凹版印刷や光学印刷(OVI)などのチェック

推奨機能: PC接続により画像データベースを構築

※その他の機能

CD9000型は、機構上たとえば小さな収入印紙からA4サイズの一般文書まで様々な鑑定が可能です。運用面ではPC接続により、鑑定のみならず鑑定画像の記録ができ、偽造に関するデータベースが構築できます。

- ・各種センサー: 光学センサーに加え、磁気センサーを備えています。
- ・各種コネクタ: USB 接続コネクタ: 外部のPCとの連携が可能です。
- ・NTSC映像端子: 大型の外部モニターなどに接続します。
- ・高品質光学レンズ: 本機のレンズには歪みの少ない特殊レンズが採用されています。
- ・CCDカメラ: 本体に等倍カメラと5倍のカメラ、さらに倍率の高いマウスカメラ (20-80倍ズーム)を装備しています。

(カメラ光源は紫外光、赤外光、自然光を発光、赤外線斜光切替)

■仕様

入力	100-240V AC50/60Hz
電源	出力12V DC
鑑定方法	紫外線鑑定 透過光鑑定 磁気鑑定 IR(赤外光)鑑定 IR波長点滅光鑑定 可変光学インク鑑定 潜像印刷鑑定(斜光線鑑定) マイクロパーフォレーション(極小穿孔)鑑定 マイクロ文字拡大鑑定(40-140倍ズーム) IRマイクロ文字鑑定(同上) 紫外線マイクロ文字鑑定(同上) オプティカル繊維鑑定 拡大倍率(等倍・8倍・40-140倍ズーム)
拡大倍率	幅268mm×奥行193mm×高さ223mm
大きさ	本体 約2キログラム
重さ	稼働時 0℃～40℃
適応温度	保存時 -20℃～+60℃

詳細仕様は、予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。(写真はイメージです。)

お問い合わせ:
日本シーディーアール株式会社
〒104-0061東京都中央区銀座7-15-8銀座堀ビル4F
TEL03-3541-1951 FAX03-3541-1952
E-mail: info@cdrjapan.co.jp
HP: http://www.cdrjapan.co.jp/cdr/